

心と体をリラックス!! 第14回親子短期保養プログラム in 沖縄

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故を受けて始めた保養プログラムです。下記のように第14回保養プログラムを企画することができました。

放射能被害に対し収束はありません。ますます大きな不安を抱えながら留まり続けなければならない方、これから起こってくるであろうさまざまなことを考え、押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょうか。そのような方々が少しでも被ばくの心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願っています。

今回は沖縄ぎのわんセミナーハウスをはじめ、日本キリスト教団沖縄教区の東日本大震災対策小委員会のお力を貸していただいております。また、国立療養所沖縄愛楽園(ハンセン病)の自治会のご協力を得て園内施設を宿泊の場としても利用させていただきます。

このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。

期 日 2020年3月26日(木)～3月30日(月) 4泊5日
宿 泊 国立療養所沖縄愛楽園(名護市)、ぎのわんセミナーハウス(宜野湾市)、那覇市内ホテル
参 加 費 1家族につき15000円
費 用 プログラム期間中の交通・食事・宿泊費などの経費は原則主催者負担。ただし、集合・解散場所(仙台空港)までの交通費やフリータイム時の食事・交通費はご負担願います。
募集人数 7組20名の親子(原則として小学生以上の子ども)
参加資格 原子力災害が及んだ被災地在住の方、避難者ならどなたでも参加できます。
引率責任者 布田 秀治(ふだ ひではる) 『いずみ』運営委員長・いずみ愛泉教会牧師
プログラム/集合・解散 (予定であり、天候等により変更の可能性があることをご了承ください)

3月26日(木) 午前11時、仙台空港 ANA 出発ロビー集合。同月30日(月)17時頃仙台空港で解散。

26日(木)～30日(月) 名護伝道所歓迎夕食会、愛楽園資料館見学・証言傾聴、美ら海水族館、御菓子御殿(読谷)、金城実アトリエ、佐喜真美術館、お買い物、フリータイム(29日)、分かち合い等

応募方法 「いずみ」に必要事項、応募理由を明記して、メール、FAX、郵送にてご応募ください。
ご応募後の連絡はメールを使用いたします。携帯などを連絡用とする場合、パソコンからのメールが受け取れるよう設定をお願いいたします。
申込締切 2020年1月10日必着。ただし、締切り前であっても定員を大幅に超えた場合、募集を締切ることがあります(「いずみ」HP上にてお知らせします)。参加者決定にあたって、原則として初めての参加者を優先。(定員に満たない場合リピーターのご応募も受付けます。) 締切後、事務局で選考/抽選を行い、選考された方には後刻必要な詳細を連絡いたします。
※早割り航空券手配のため、参加者さまのご都合によりキャンセルされる場合、航空券などのキャンセル料ご負担が発生することをご了承ください。確実に参加できる方のお申込みをお願いします。

問い合わせ・申し込み 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目13-6
電話・FAX 022-796-5272 **Eメールアドレス** izumi@tohoku.uccj.jp
日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ 親子短期保養係

主 催 : 日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ、北日本三教区(北海・奥羽・東北)
委 員 : 布田秀治(長)、保科隆、村岡博史、松浦裕介、原和人、久世そらち、小西陽祐、板谷良彦、服部賢治
協 賛 : カトリック正義と平和仙台協議会